

令和6年度第3回箕面市子ども・子育て会議計画策定部会 議事概要

◆ 日時：令和7年1月17日（金）14：00～14：40

◆ 場所：箕面市役所本館3階 委員会室

◆ 出席者：

【委員】

馬場部会長、太田委員、北本委員、山中委員、宗形委員、中森委員、秋山委員、中村委員、森委員

【事務局】

藪本局長、今中担当部長、柴田副部長、村田担当副部長、山田担当副部長、森川室長、山根室長、長與室長、川口室長、片山センター長、六島室長、渡邊室長、谷邊参事、森下

◆ 傍聴人：1名

◆ 議事内容

1. 開会

(馬場部会長)

- 開会挨拶

2. 案件

(事務局)

- (素案の変更箇所について【資料1】【資料2】に基づき説明)

(事務局)

- ((仮称)第五次箕面市子どもプランのやさしい版、概要版について【資料3】【資料4】に基づき説明)

(馬場部会長)

- やさしい版と概要版について、これはデータで Web サイトに掲載されるものか、それとも、紙媒体にして配布をするのか。
- どういう形で、公表されるものか教えていただきたい。

(事務局：谷邊参事)

- 今後、パブリックコメントを実施する予定だが、本体計画を紙媒体で閲覧できるコーナーには一緒に紙媒体で配架する予定。
- また、ホームページでデータを確認できるようにする予定。
- 策定後の周知での使い方については、事務局で今後検討していく。

(北本委員)

- 市民が見て、もっと詳しく内容を知りたいと感じたときに、問い合わせる窓口や連絡先の記載があったほうがよいと思う。
- そういったことが記載されているともっと使い勝手がよくなるのではないか。

(事務局：谷邊参事)

- 事務局で検討させていただく。

(中村委員)

- 子ども・若者の意見反映の部分について、若者や子どもたちに向けて発信する媒体であれば、かなり大事なポイントになると思う。
- 概要版に記載されている七つの項目がどのように整理されたのかはわからないが、子ども・若者の意見部分についても入れることができるのであれば、入れたほうが、子どもたちの声が箕面市の取組に反映されていくということが伝わるのではないかと思う。

(事務局：谷邊参事)

- 七つの項目については、計画本体で整理されている七つの項目に基づいている。
- 子ども・若者世代にも分かりやすいような表現等は引き続き検討していく。

(秋山委員)

- 北本委員と同じ意見だが、せっかくこういったものを作るのであれば、もっと詳しく知りたいというかたや、利用したいというかたに向けて、問合せ先やホームページの URL 等の記載があればすごくいいと思う。
- 子どもがよく持ち帰るいじめに関するリーフレットには、問合せ先が記載されており、もし何かあればここに相談しようとするのでありがたい。
- ひとり親の家庭や、外国のかた等、それぞれに向けた情報発信は何かしているか。

(事務局：山根室長)

- ひとり親家庭については受けられる手当があるので、毎年届出をしていただいている。
- その通知を送る際に、受けられる手当のパンフレット等を同封している他、窓口に来た際にも受けられる手当や支援等の説明をしている。
- ご家庭の状況等を深く聞き取るのはプライバシーの問題もあるため、受けられる手当や支援を一覧で提示して、対象となる場合はという形で周知している。

(中村委員)

- プラン素案作成前の段階で、すごく細かいアンケートを実施していたと思う。
- 今後このプランができた後、次のプランを策定する前に再度アンケートはとるのか。
- 今回のアンケートで、子育て層のニーズはすごく拾っていたと思うが、不登校の話題もあったように、ひきこもり状態にある人たちの実態を把握するためのアンケートも今後重要だと感じるし、そういったアンケートをとるのであれば、対象を保護者でなく本人にするなど、アンケートの手法を変えていく必要があると思う。
- アンケートの実施については、プラン策定とは関係のないものとして考えたほうがいいのか、本プランを策定していく上で連動していると考えたほうがいいのか教えていただきたい。

(事務局：村田担当副部長)

- 今回、計画の策定前に実施したアンケートは、子ども・子育て支援事業計画の量の見込みを算出するにあたって、子育て世帯のニーズを把握するためのアンケートになる。
- 子ども本人に対するアンケートとなると、この計画策定のために必須なものではないが、次の計画をどのような内容にしていくかというときに、子ども・若者の意見をどこまで取り入れるのかというところで、検討していくことになると思う。
- ただ、この計画は5年計画であり、次の計画策定前のアンケートとなると4年後の話になる。
- その間、何もしないのかという課題もあると思うので、計画策定とは関係なく実施する可能性や、アンケートとは違う手法で実施する可能性も含めて、今後検討していく。

(中村委員)

- 中学校卒業した子どもたちがどうなったか、箕面市で把握があまりできていない現状だと思うが、この世代の実態把握も今後必要になってくると思う。

3. その他

- (今後のスケジュールについて事務局から説明)

4. 閉会